

# 姫路昆虫同好会会則

1. この会は、姫路昆虫同好会と称する。
2. この会は、播磨地方の昆虫研究と播磨在住の者および県内外の会員が幅広く昆虫研究した成果を発表し、会員相互の親睦をはかることを目的とする。
3. この会は、その目的を果たすため次のことをする。
  - (1) 会誌（年1回の発行）
  - (2) 連絡誌の発行
  - (3) 姫昆サロン会の催し
  - (4) 合同観察会などの催し
4. この会は、昆虫に興味をもち、会の目的に賛同する人は誰でも入会できる。
5. 会員は、会を維持するため、年会費を負担しなければならない。
6. 会員は、会誌などの配付を受け、またこれに投稿できる。
7. 会員は、観察会などの催し、またサロン会などに参加できる。
8. この会を運営するため、顧問、会長および世話人若干名と事務局をおく。さらに世話人中より代表世話人1名を選出する。これらの役員は総会で選出し、その任期は1年とする。ただし、再選は妨げない。
9. 総会は年1回とし、役員改選、会則の改正など会の運営上の重要事項を審議する。議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。
10. この会の会計年度は、暦年とする。

〔平成7年度顧問〕 奥谷禎一

〔平成7年度会長〕 三木順一

〔平成7年度世話人〕 稲田和久 木村三郎 広畑政巳 相馬明直 高島昭  
相坂耕作(꠫)

## 表紙解説

### 題字 『遊蟲千年』

趣味として永遠に虫と遊ぶことを意味している。虫は昆虫だけでなく蟲の本字を用いることにより、ありとあらゆる虫を意味し含んでいる。

揮毫は姫路昆虫同好会会員の五十嵐喜昭氏。(号 鶯峯)

### 版画 『晴れた朝』

画面に11種の昆虫などが描かれている。版画はチャーチル会姫路会員の市川涼子氏。